

感謝をこめて

上 野 あ ゆ み

私は佛教大学在学中に自ら学ぶことの難しさと、その楽しさの本質を改めて学びました。自分の興味の赴くまま、自分の納得のいくまで考察し、時には友達、そして先生と議論し、時間を費やすということ。そこには学ぶ自分と学びたい対象物、そして、それに応じて広がる知識と人びとの考えや人間関係を得ることができました。

それは、私が想像していた以上のもので、想像していた以上の相関性のなかで手にしたものでした。大学を卒業した今、このような経験を振り返ると、前川先生の熱いご指導への感謝が改めて湧き上がってきます。

とにかく英語を学びたい、それだけを胸に、2000年佛教大学文学部英文学科に入学しました。今でも中庭の新緑の美しさがまぶしい中、期待と不安の面持ちで月曜3限の前川先生の「英語学概論」を受講したことが思い出されます。私にとって英語を学びたいという気持ちはあったものの、いきなりの本格的な英語学の講義に、一気に不安と焦りが襲いかかりました。しかし、毎回の妥協の許さない前川先生の熱心な講義を受けるうちに、自ら積極的に学んでいけば自ずと分かっていくということに気づかされました。

そして、私は前川先生には4回生ゼミでもお世話になりました。ゼミでは全体の講義とは違い少人数なのでより近くで、より込み入った質問や議論が展開されました。普段発言の少ない学生も以外とおもしろい意見をもっているという新しい発見や、納得いくまで話し合うということのおもしろさがありました。しかし、少人数ゆえに先生の細かく、そして厳しいチェックが容赦なくゼミ生を襲い、頭を抱えたことは今思えばよい思い出ですし、前川先生の英語学に対

する真剣な思いを目の当たりにした瞬間でした。

また、私は教職課程を取っていたので、中等教科教育法「英語」では、前川式英語教授法を学ぶことができましたし、ゼミとの関連で教育実習校へも訪問してくださいました。私は兵庫県北部出身で、京都からは4時間ほどかかる場所にもかかわらず、私の授業のために先生の貴重なお時間とご足労いただいたうえに、そこでも授業の感想や指導をしていただきとても感謝しています。また、思いがけず、前川先生、実習校の先生方、そして私とで、現代の中学英語教育に関する座談会の場が開けたことは、私の教育実習の中でも極めてよい、有意義な時間となりました。

このように振り返えると、在学中最も多くの講義を受講させていただいたのが前川先生でした。前川先生の英語学への熱意、教育への情熱を目の当たりにし、厳しくも真剣に私たちと関わってくださったこと、時に先生の経験談を聞かせていただいたこと、学生とさまざまな意見交換をしてくださったことは、私にとってすばらしい経験となりました。

前川先生が教鞭を取られた一コマに私も参加できたことに喜びを感じるとともに、先生のご指導への感謝の気持ちを今後に役立てていきたいと思っています。これからも前川先生の益々のご活躍を心よりお祈りいたします。本当にありがとうございました。